

# 平成 29 年度定時総会 6 月 3 日(土)開催

—会場は青葉区の仙台市福祉プラザ—



公益社団法人  
宮城県芸術協会  
(郵便番号 980-0802)  
仙台市青葉区二日町16-1  
二日町東急ビル5-B  
電話 (022) 261-7055  
FAX (022) 214-5184  
E-mail:miyagi-geikyo@sunny.ocn.ne.jp  
発行者 大場 尚 文

題号の背後にある芸協のシンボルマーク「雲」は、様々な分野の芸術家達がふんわり集まり、巻雲のように盛り上がりつつ纏まった姿を表す。創設当初の理事安倍郁二氏によるデザイン。

当協会の平成29年度定時総会は、6月3日(土)午後2時40分から、仙台市青葉区五橋の仙台市福祉プラザで開かれる。主な議題は28年度事業報告及び収支決算。3月17日の理事会で決議された29年度事業計画と収支予算は報告事項となる。基幹事業の29年度第54回宮城県芸術祭では、初の試みとして全体の統一テーマに「結い」を掲げ、事業展開を図る。

平成29年度の事業計画(第6面)では、当協会をはじめ7団体共催による第54回宮城県芸術祭は、9月17日のピアノコンクール受賞者によるガラコンサートを皮切りに開催される。今年度から芸術祭では、年度ごとにテーマ性をもたせて事業展開を図る観点から、初の試みとして統一テーマに「結い」を設けた。この取り組みは、各部門間におけるコラボレーションなどを積極展開することで、芸術祭の魅力を高め、県民が芸術を身近に感じ、親しみをもって鑑賞できるようにするとともに、当協会の活動への理解と関心を醸成するための情報発信の

強化が狙い。

9月22日の開会式に続き、9月23日にはせんだいメディアテーク一階で「結い」をテーマとする開会イベントを開く。その後、順次各事業を実施し、11月14日の表彰式を経て、来年3月18日の第38回音楽コンクール本選まで事業を展開する。なお、今回から音楽コンクールにヴァイオリン部門を加えることで、これまでのピアノ部門とともに、音楽分野での幅広い人材育成に貢献できる環境が整うことになる。

平成29年度予算(第7面)では、公益目的事業の収支をマイナスまたはゼロとしなければなら

らないとする「収支相償の原則」と、公益目的事業比率を事業費全体の50%以上とする公益法人の財務基準を満たしている。収入面では、新入会員を90人に見込み、正会員総数を二千三百三十六人として予算を計上。平成28年度に大幅に増えた賛助会員からの会費収入の増加と併せて、収支の大幅な改善が図られている。

## 音楽コンクールにヴァイオリン部門

音楽コンクールは「宮城県における音楽文化の向上と、子供たちの情操教育の一端を担う」ことを目的に、昭和55年からピ

アノコンクールとして続けられ、平成27年度からは芸術祭事業のひとつとなっている。近年の県内ヴァイオリン人口の増加傾向を踏まえ、今回から「ヴァイオリンコンクール」を追加。2部門の音楽コンクールとして開催することとなった。ヴァイオリン部門が加わることで、これまで以上に児童・生徒の幅広い人材育成の環境が整うとともに、コンクールの多様性をアピールできることになる。

日程と会場はピアノ部門と共に、予選が平成30年2月18日、本選が3月18日、会場は日立システムズホール仙台となる。

## 記念講演「文化人としての伊達政宗」

講師は登米伊達家当主の宗弘氏

定時総会に先立ち、午後1時30分から恒例の記念講演が開催される。講師は仙台大学客員教授の伊達宗弘氏で、演題は「文化人としての伊達政宗」。

宗弘氏は伊達家一門登米伊達家の当主。宮城県職員として文化振興課長、政策調整監、宮城県図書館長・顧問などを歴任。主に文化政策面で活躍された。

現在は、日本文藝家協会会員、日本ペンクラブ会員、歴史時代作家クラブ会員で『みちのくのと歌、遙かなり』『武将歌人、伊達政宗』など多数の著書がある。

今年度は伊達政宗生誕450年。戦うイメージの強い政宗ではあるが、手紙、和歌、記録から語られることの少ない文化人としての政宗を紹介してもらおう。

今年度の宮城県芸術祭では、初めての試みとして「結い」という統一テーマを設定して事業を展開することになりました。

その目的は、テーマに沿った作品展示や発表等を行うことにより、強いつながりを発信しながら多くの皆様の来場を促すことにあります。

「結い」には、「結ぶ」「つなぎ合わせる」などのほか「互い」といった誤報を信じて聴くと

### 第54回宮城県芸術祭統一テーマ「結い」について



執行理事 渡部勝彦

に力を貸し合う」といった相互扶助や共同作業などの意味合いも含まれています。

この多様な解釈が可能な言葉こそが、テーマへの選択の理由でありました。芸術の世界では、芸術家個々の優れた表現力に基づく個性豊かな感性が原点であると考えています。言葉の意味を単純に追求するのではなく、芸術家が「結い」という言葉を如何にイメージし、表現に活かす、メッセージを発信していく

## 「謝金等に関する規程」4月から執行 事業間の不均衡を是正

当協会の謝金等については、対象事業が多岐にわたることなどから、その都度常任理事会などで謝金の額を決めてきた。そのため、従来から部門間、事業間での謝金の額の不均衡が課題となっていた。

また、公益社団法人への移行に伴う県の立入検査で「謝金の支払いについて、支給額の根拠が明確でないことから、講師等謝金基準を策定すること」とする指導を受けた。さらに昨年度の指

別表 謝金の支払基準（上限）額

区分	対象者	支払基準額	対象事業例
(1) 記念講演謝金	会員	30,000 円/回	総会講師等
	外部	50,000 円/回	
(2) 講師等謝金	会員	10,000 円/回	講演会、研修会、講座、セミナー、ギャラリートーク、派遣事業などの講師等
	外部	50,000 円/回	書道部研修会講師等
(3) 音楽会などへの出演、音楽コンクール課題曲などの作曲等謝金	会員	10,000 円/回	音楽会、ガラコンサート等
	外部	30,000 円/回	
(4) コンクールなどの審査員等謝金	会員	10,000 円/回	音楽コンクール等
	外部	50,000 円/回	
(5) 機関紙執筆編集等謝金	会員	10,000 円/回	はなやま
(6) 専門的事項協力謝金	会員・外部	10,000 円/回	展示等指導、会議への生け花展示、呈茶等の専門的事項の依頼
(7) その他理事長が必要と認めた謝金	(1) ~ (6) のうち、最も類似した種類の謝金等の基準額の範囲内で理事長が定める。		

講師謝金の上限が5万円とされた以外に大きな変更はない。この規程にもとづいて編成された平成29年度予算は、3月17日の第5回理事会で承認され、4月1日から執行されている。

### ◆新部長・副部長

- ▽部長 浅野治志
- ▽副部長 樋田隆
- 【工芸部】 植木由利子、渡邊美穂
- 【洋楽部】 石母田星人、佐々木洋一、佐藤明、篠沢亜月
- 【茶道部】 畠山宗照
- 【舞踊部】 若柳梅京

### ◆新運営委員

- 【工芸部】 浅井裕子、市岡泰
- 【書道部】 石上千暉
- 【洋楽部】 植木由利子、渡邊美穂
- 【文芸部】 石母田星人、佐々木洋一、佐藤明、篠沢亜月
- 【茶道部】 畠山宗照

私たちは芸術協会を 応援します

- 新賛助会員 (団体)
- ◆株式会社ヤマハミュージックリテイリング仙台店 店長 竹中 徹信 様
- ◆高橋 正衛 様
- ◆青木 正様

## 平成 29 年度 新入正会員名簿

部 門	氏 名(本 名)	住 所	部 門	氏 名(本 名)	住 所
<b>【絵画部】</b>				上 野 彰 子	仙台市泉区
〈日本画〉	板 橋 千 穂	仙台市宮城野区		大 築 萌	仙台市泉区
〈日本画〉	伊 藤 和 子	塩釜市		齋 藤 寿 子	仙台市太白区
〈日本画〉	小野寺 康	仙台市青葉区		櫻 田 朗 歩	仙台市若林区
〈日本画〉	高 橋 悠 華	仙台市若林区		柴生田 桂 子	仙台市青葉区
〈日本画〉	宮 武 眞 澄	岩沼市		藤 本 淳 子	仙台太白区
〈日本画〉	山 口 裕 子	山形県山形市		最 上 陽 子	仙台市青葉区
〈洋画〉	阿 達 洋 史	仙台市泉区		門 傳 恵	仙台市泉区
〈洋画〉	石 川 かおり (香)	仙台市青葉区	<b>【邦楽部】</b>		
〈洋画〉	梅 津 恵 子	仙台市若林区	〈三曲〉	鹿 又 淑 恵	仙台市太白区
〈洋画〉	遠 藤 文 子	仙台市青葉区	〈三曲〉	菊 治 良 子 (尾形良子)	仙台市太白区
〈洋画〉	小 川 智 子	仙台市青葉区	〈三曲〉	菊 地 康 子	仙台市泉区
〈洋画〉	加 藤 元	登米市	〈三曲〉	呑 山 佳 子 (佐々木桂子)	仙台市青葉区
〈洋画〉	菊 地 英 子	岩沼市	〈三曲〉	増 岡 陽 子 (佐々木陽子)	仙台市若林区
〈洋画〉	後 藤 和 紀	仙台市宮城野区	〈三曲〉	山 田 一 邦 (邦子)	仙台市泉区
〈洋画〉	後 藤 隆 夫	仙台市太白区	〈三曲〉	渡 辺 悦 子 (岩淵悦子)	仙台市太白区
〈洋画〉	後 藤 美知子	加美郡加美町	<b>【文芸部】</b>		
〈洋画〉	佐 藤 和 達	仙台市泉区	〈短歌〉	中 山 く に 子	石巻市
〈洋画〉	佐 藤 京 子	多賀城市	〈俳句〉	佐 藤 真智子	仙台市泉区
〈洋画〉	菅 原 泰 子	仙台市青葉区	〈俳句〉	中 村 春 (仲村美佐子)	仙台市青葉区
〈洋画〉	土 井 弥 生	塩釜市	〈俳句〉	二 本 柳 力 彌	大崎市
〈洋画〉	畠 山 明 弘	登米市	〈俳句〉	針 金 聖 子	名取市
〈洋画〉	秀 島 美代子	仙台市宮城野区	〈俳句〉	平 山 北 舟 (隆)	仙台市泉区
〈洋画〉	廣 岡 さだ子	角田市	〈川柳〉	粕 谷 ゆきみ (幸美)	仙台市太白区
〈洋画〉	船 水 良 子	仙台市青葉区	<b>【舞踊部】</b>		
〈洋画〉	堀 野 京 子	仙台市泉区	〈日舞〉	花 柳 寿美衡 (西浜圭)	仙台市太白区
〈洋画〉	矢 野 奈津子	仙台市青葉区	〈日舞〉	藤 間 勘そめ (早山洋子)	仙台市青葉区
〈洋画〉	渡 邊 昭 硯	仙台市若林区	〈日舞〉	藤 間 京 緑 (神羽みち子)	石巻市
〈洋画〉	渡 邊 せつ子	仙台市泉区	〈日舞〉	藤 間 寿和枝 (小笠寺純子)	仙台市青葉区
〈洋画〉	渡 辺 均	仙台市太白区	〈日舞〉	水 木 歌 泰 (眞壁恭子)	宮城郡利府町
<b>【彫刻部】</b>			<b>【茶道部】</b>		
	佐々木 莉 央	仙台市若林区	〈裏千家〉	門 岡 宗 真 (真理)	仙台市泉区
	花 屋 希 史	仙台市若林区	〈裏千家〉	小 池 宗 杏 (杏子)	仙台市泉区
<b>【書道部】</b>			〈裏千家〉	香曾我部 宗武 (武子)	仙台市太白区
	荒 川 空 華 (朋子)	石巻市	〈裏千家〉	佐 藤 宗 春 (千春)	仙台市泉区
	菅 野 未 麗 (みどり)	仙台市太白区	〈裏千家〉	清 水 宗 智 (智恵子)	仙台市宮城野区
	菊 地 孝 夫	仙台市青葉区	〈裏千家〉	千 葉 宗 春 (はる江)	仙台市太白区
	櫻 田 さよ子	仙台市泉区	〈裏千家〉	細 谷 宗 多 (多恵子)	仙台市青葉区
	佐 藤 華 炎 (淳子)	仙台市青葉区	〈裏千家〉	武 者 宗 洋 (洋子)	亶理郡亶理町
	佐 藤 孝 輝 (孝子)	柴田郡大河原町	〈宗徧流〉	バルバラウ 宗由 (由紀)	仙台市太白区
	早 坂 孝 恵	仙台市泉区	〈織田流煎茶道〉	相 澤 南 佳 (佳加)	仙台市青葉区
	三 澤 郁 翠 (郁子)	柴田郡大河原町	〈織田流煎茶道〉	狩 野 南 勢 (勢津子)	栗原市
	渡 辺 桃 苑 (なな代)	大崎市	〈武者小路千家〉	鈴 木 守 榮 (榮子)	仙台市宮城野区
<b>【華道部】</b>			〈武者小路千家〉	高 橋 守 信 (のぶ子)	栗原市
〈草月流〉	三 浦 恵 村 (恵美)	気仙沼市	<b>【写真部】</b>		
<b>【洋楽部】</b>				小 野 晋	仙台市宮城野区
	浅 野 裕里香	名取市		佐 藤 公	仙台市泉区
	荒 井 正 昭	黒川郡大和町		志 田 伸 一	仙台市宮城野区
	石 田 恵 子	仙台市若林区		丹 治 郁 夫	富谷市
	井 上 典 子	仙台市青葉区		平 間 操	柴田郡柴田町

### 絵画部スケッチ研修会は5月20日・21日

## 港町酒田と残雪の鳥海山麓へ

今年の絵画部スケッチ研修会は、山形県の酒田市と鳥海山麓。古くは北前船が行き交い、東北随一の商業都市として栄えた酒田市内で、米どころ庄内のシンボルとなっている山居倉庫や、北に鳥海山、南に月山・日本海を望む絶景のロケーションの鳥海山麓で、スケッチを楽しむ。

絵画部員以外の参加も受け付ける。希望者は芸協事務局まで。

【日程】▽5月20日(土) 8時45分仙台駅東口集合。酒田市・山居倉庫や日和山でスケッチ。  
▽5月21日(日) ホテルから移動。鳥海山荘周辺でスケッチ。18時30分頃仙台東口解散。

【宿泊地】湯野浜温泉・リゾートホテル華夕美日本海

【参加費】26,000円  
【募集人数】40人(定員になり次第受付終了)

【応募締切】5月15日(月)

【期日】5月20日(土)～21日(日)

## 第21回杜の都大茶会

5月27日・28日勾当台公園で

当協会と河北新報社が主催し、平成8年のスタートから今年で21回目となる杜の都大茶会は、5月27日(土)と28日(日)の両日、仙台市青葉区の勾当台公園で開催される。

今年も当協会の13流派が新緑のもと野だてでお点前を披露し、市民をもてなす。昨年好評だった体験コーナーは今年も設けられる。

茶席券は、前売りが2席券1,200円、当日は1席券700円、2席券1,400円となる。

流派ごとの日程は次のとおり(雨天催行)。

◇5月27日(土) 表千家、煎茶道三彩流、大日本茶道学会、江戸千家、玉川遠州流、煎茶道清泉幽茗流、武者小路千家

◇5月28日(日) 裏千家、石州清水流、煎茶文雅静庵流、織田流煎茶道、宗徧流、遠州流茶道

今年の韓国芸術文化団体連

合会大邱広域市連合会との交流事業は、9月5日(火)に大邱で「伝統芸術を中心とする交流」をテーマに、両団体による舞台公演として行われる。

当協会側は、邦楽部と舞踊部の会員による三曲と日本舞踊の公演、大邱側は、韓国の伝統音楽である国楽を中心とする公演となる予定。大

## 大邱との交流事業 邦楽と舞踊で交流 9月4日～8日訪韓

場尚文理事  
長を団長とする訪問団  
15人が、9月4日から8日まで訪韓する。

この事業は、当協会と大邱芸術が芸術交流

により相互の芸術活動の発展を図ることを目的として平成7年から実施し、多くの成果を挙げてきた。これまでの20年以上に及ぶ交流事業で、所期の目的が概ね達成できたことなどから、昨年度の第1回理事会で、今年度の大邱、来年度仙台で行う交流事業を最後に終了とすることを決定している。

## 文学散歩は北上・盛岡方面 ～5月20日・21日実施～

今年の文学散歩は、10月4日(水)・5日(木)の2日間にわたり、8年ぶりに岩手県を巡る。

『人と碑と寺院をゆったり深く』をテーマとし、主な見学先は以下のとおり。

〈1日目〉北上市「日本現代詩歌文学館」、山口青邨宅、「サトーハチロー記念館」、花巻市「宮沢賢治記念館」「宮沢賢治童話村」「高村光太郎記念館」。(2日目)盛岡市にある鶴彬(反戦川柳作家、現地川柳人の解説付き)の墓と句碑、「先人記念館」、奥州市の正法寺、黒石寺など。

すでに訪ねた人も多いと思うが、再び訪問することで、さらに新しい発見が得られるだろう。

宿泊は花巻市志戸平ホテル。参加費29,000円。募集人数40人。

詳しい案内等は次回の「はなやま213号」に掲載予定だが、会員以外の友人、知人を誘い合わせていただき、多数の参加を期待している。

## 研修旅行今年是国内

### 11月7日～9日に金沢方面へ

今年の研修旅行は、国内で実施することになり、11月7日(火)～9日(木)に金沢方面に行くことに決まった。

研修旅行は当初国内で行っていましたが、平成5年以降は海外を研修地として企画してきた。ところが、国際的な治安の悪化から、近年は慎重に研修地を決める必要に迫られ、最近は特に顕著になってきた。

こうした状況を勘案し、今年 は久々に国内に目を向け、北陸新幹線の開業以来、観光客が増え続けている加賀百万石の城下町・金沢を訪ねる。

詳しくは次回の「はなやま213号」に掲載し、案内チラシも同封の予定。2泊3日の手軽に行ける会員交流の旅として企画したので、多くの参加を期待したい。

# カメイ美術館との共催絵画展 現運営委員等の「現在と過去」好評

当協会とカメイ美術館の共催による絵画展「宮城県芸術協会 絵画部門現運営委員等の『現在と過去』第一期」が、1月31日から3月12日まで青葉区のカメイ美術館で開催された。

今年から新たな企画として始まった本展は、絵画部に在籍する役員等が近作と過去の作品各2点ずつを出品して展示。3年にわたる開催の今回は第一期として、29名の作品が展示された。

また、3月4日には当協会洋楽部会員の櫻井希（フルート）・小田島航太（サクソフォン）・門脇麻美（ピアノ）の3氏の出演によるギャラリーコンサートを開催。会場は来場者で埋め尽くされ、盛況を呈した。洋楽部の協力により平成25年から始まったギャラリーコンサートは、毎

回出演者の様々な趣向が楽しめるコンサートとして、多くの来場者が訪れる会期内の恒例イベントとして定着している。



絵画展の会場で演奏する洋楽部会員

## 多彩なプログラムで聴衆を魅了

### ミュージックフェスタ2016 in たいわ

当協会、公益財団法人宮城県文化振興財団、大和町など六団体共催の「みやぎミュージックフェスタ2016 in たいわ」が



演奏者と聴衆が一体となったフィナーレ

2月19日、大和町のまほろばホールで開かれた。

プログラムは「オープニング」大地の響き」「第一部」とどけまほろばの空に」「第二部」ふれあいのフェスタ」「第三部」絆のハーモニー」「第四部」まほろば賛歌」の構成。

唱団とミュージックフェスタ・オーケストラによる合同演奏。バラエティーに富んだプログラムや、地元の音楽団体と芸協会員のコラボレーションによる演奏が聴衆を魅了した。来場者に対するアンケートには「いろいろ

## 芸術祭ピアノコンクール

### 芸術協会賞に鮫沢菜々美さん

なジャンルの音楽が一度に聴けてとても楽しかった」「普段聴けないプロの音楽に触れられ感動した」「機会があればまた聴きたい」など、賞賛の感想が多数寄せられた。入場者は551人であった。

芸術祭事業の一環である第37回ピアノコンクールは、2月11日に予選、3月19日に本選が日立システムズホール仙台（青年文化センター）で行われた。

宮城県文化振興財団賞・小野寺優花、奨励賞・松川佳機

前回から初級、中級、上級がそれぞれA・Bのクラスに細分化され、参加対象も高校生まで拡大されている。その結果、予選116人、本選49人と多くの参加者で、盛大なコンクールとなった。入賞者は次のとおり。

【中級B】最優秀賞 樋井かりん、優秀賞・及川華奈、奨励賞・長沼楓、作曲者賞・梶井かりん、秋山泰輝

【初級A】最優秀賞・土屋寧音、優秀賞・三條朝弾、橋本和佳、奨励賞・後藤愛里咲

【上級A】最優秀賞 宮城県知事賞・岡田悠聖、優秀賞 宮城県教育委員会教育長賞・狩野匠登、作曲者賞・岡田悠聖

【初級B】最優秀賞・若山茜、優秀賞・高橋都羽、菱沼胡宏、岩田明輝、作曲者賞・根本心李

【上級B】最優秀賞 宮城県芸術協会賞・鮫沢菜々美、優秀賞・佐藤優吾、奨励賞・草野ひより

【中級A】最優秀賞 仙台市長賞・田中香寿樹、優秀賞 河北新報社賞・上松咲愛、奨励賞

受賞者のうち審査員から推薦された10人は副賞として、9月17日（日）日立システムズホール仙台で開かれる「第37回宮城県芸術協会ピアノコンクール」に出演できることになった。

## 平成 29 年度 事業計画

## (1) 宮城県芸術祭の開催【公益目的事業1】

本協会を中心とし、宮城県、仙台市、河北新報社、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、公益財団法人宮城県文化振興財団の七団体共催により、本年度で第54回目となる宮城県芸術祭を開催する。開催期間は、9月17日（日）の受賞者によるガラコンサートを事業の開始とし、9月22日（金）の開会式（会場：せんだいメディアテーク）と、本年度より新たにその年の芸術祭のテーマを各部合同の舞台演目にして表現する開会行事として、平成29年度は「結い」をテーマに9月23日（土）にオープニング・イベント（会場：せんだいメディアテーク）を開催。11月14日（火）の表彰式（会場：ホテルメトロポリタン仙台）までの期間を経て、第38回目の開催となる音楽コンクール本選3月18日（日）で全事業終了となる。各事業の詳細は次のとおり。

事業種別	事業名	期 日	会 場
展示関係事業	華道展	9月22日（金）～9月27日（水）	せんだいメディアテーク5F
	書道展	9月22日（金）～9月27日（水）	せんだいメディアテーク5F・6F
	工芸展	9月29日（金）～10月4日（水）	せんだいメディアテーク5F
	写真展	9月29日（金）～10月4日（水）	せんだいメディアテーク5F
	彫刻展	9月29日（金）～10月4日（水）	せんだいメディアテーク6F
	絵画展	10月6日（金）～10月11日（水）	せんだいメディアテーク5F・6F
演奏関係事業	長唄演奏会	10月15日（日）	仙台市民会館
	音楽会	10月31日（火）	日立システムズホール仙台
文芸関係事業	文学散歩	10月4日（水）～10月5日（木）	岩手県北上・盛岡方面
	「宮城県文芸年鑑」発行	10月15日（日）	800部発行
	文芸祭	10月21日（土）	東京エレクトロンホール宮城
茶 会	茶 会	10月8日（日）・15日（日）・22日（日）	輪王寺
人材育成事業	写真公募展	9月29日（金）～10月4日（水）	せんだいメディアテーク5F
	絵画展（公募の部）	9月29日（金）～10月4日（水）	せんだいメディアテーク6F
	彫刻公募展	9月29日（金）～10月4日（水）	せんだいメディアテーク6F
	受賞者によるガラコンサート	9月17日（日）	日立システムズホール仙台
	第38回音楽コンクール	予選：2月18日（日）	日立システムズホール仙台
	【ピアノ部門・ヴァイオリン部門】	本選：3月18日（日）	
	写真セミナー	未定	未定

※展示関係事業：各展会期中にはギャラリートークや作品解説、体験教室などを実施する。

※人材育成事業：ピアノコンクールのみで実施してきた音楽コンクールを、本年度より部門別としてピアノ部門とヴァイオリン部門の2部門による音楽コンクールとして実施する。

※巡回展事業：宮城県教育委員会を通じて県内市町村からの開催要望がなかったことから平成29年度については見合わせる。

※芸術祭参加行事：例年と同様に第61回仙台三曲協会定期演奏会、第48回洋舞公演を芸術祭参加行事とする。

## (2) 芸術文化の振興に関する展覧会、講演会、研究会、発表会などの主催又は後援【公益目的事業2】

多くの県民に本協会の会員による芸術作品や音楽会などを鑑賞する機会の提供及び、芸術文化に関する人材の育成と各分野の幅広い裾野拡大と普及啓発を図ることを目的とし、各事業を次のとおり実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場
鑑賞機会提供事業	第54回 宮城県芸術祭 絵画展受賞者作品展	12月15日（金）～21日（木）	東京エレクトロンホール宮城
	（カメイ美術館共催） 第9回絵画作品展	2月初旬～3月中旬	カメイ美術館
	みやぎミュージックフェスタ	未定	未定
伝統文化体験事業	第21回 杜の都大茶会	5月27日（土）・28日（日）	勾当台公園
人材育成事業	県民との美術交流・ ギャラリートーク	10月7日（土）	せんだいメディアテーク
	書道部による県内小中 学校への講師派遣事業	通年	県内小中学校
後援事業	「河北美術展」・「河北書道展」・「河北工芸展」等に賞状及び賞金を提供するなど、本協会に申請のあった作品展や演奏会に対し、後援名義の承認、必要に応じた賞状や賞品等を提供する。（平成28年度承認実績：90件）		

## (3) 国内及び国外との芸術文化の交流【公益目的事業3】

国内外の芸術総合文化団体との相互交流を図ることを目的とし、交流協議及び事業を次のとおり実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場
東北・北海道芸術文化 団体協議会交流事業	東北・北海道交流事業 文化講演会	6月6日（火）	ラ・プラス青い森
仙台・大邱国際 芸術交流事業	（日・韓国国際交流） 仙台・大邱交流演奏会	9月5日（火）	大邱文化芸術会館

※東北・北海道芸術文化団体協議会交流事業：本年度担当幹事地区は青森県。

※仙台・大邱国際芸術交流事業：本年度は邦楽部（三曲）と舞踊部（日舞）が中心となって訪問団を結成し、大邱において舞台公演を実施する。

## (4) 会員の資質向上のための研修会等の実施及び調査研究並びに出版物の刊行など【他事業】

本協会会員や多くの県民に参加の機会を提供する各研修事業と、協会の活動状況等の発信及び会員同士の情報交換を図るための発行物の刊行を次のとおり実施する。

事業種別	事業名	期 日	会 場 等
会 員 研 修	講演会（講師：伊達宗弘氏）	6月3日（土）	仙台市福祉プラザ
	絵画部スケッチ研修会	5月20日（土）・21日（日）	山形県酒田・鶴岡方面
	書道部研修会	9月24日（日）	せんだいメディアテーク
	第44回研修旅行	11月7日（火）～9日（木）	石川県金沢方面
発 行	機関紙「はなやま」発行	年4回発行（5・7・11・1月）	

## 平成29年度正味財産増減予算書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

科目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合計
	公1	公2	公3	共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用益	0	0	0	2,000	2,000	0	0	2,000
受取入会金	0	0	0	900,000	900,000	0	900,000	1,800,000
受取会費	0	0	0	12,660,000	12,660,000	2,786,547	7,893,453	23,340,000
事業収益	7,692,000	116,000	720,000	0	8,528,000	3,472,000	0	12,000,000
受取補助金等	200,000	0	250,000	0	450,000	0	0	450,000
受取負担金	12,900,000	0	0	0	12,900,000	0	0	12,900,000
受取寄付金	125,000	0	0	0	125,000	0	0	125,000
雑収益	210,000	0	0	0	210,000	0	3,000	213,000
経常収益計	21,127,000	116,000	970,000	13,562,000	35,775,000	6,258,547	8,796,453	50,830,000
(2) 経常費用								
事業費	29,548,991	2,872,462	3,490,000	0	35,911,453	6,258,547	0	42,170,000
管理費	0	0	0	0	0	0	7,844,000	7,844,000
経常費用計	29,548,991	2,872,462	3,490,000	0	35,911,453	6,258,547	7,844,000	50,014,000
当期経常増減額	△8,421,991	△2,756,462	△2,520,000	13,562,000	△136,453	0	952,453	816,000
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	8,421,991	2,756,462	2,520,000	△12,746,000	952,453	0	△952,453	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	816,000	816,000	0	0	816,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	43,971,633	43,971,633	0	0	43,971,633
一般正味財産期末残高	0	0	0	44,787,633	44,787,633	0	0	44,787,633
II 指定正味財産増減の部							0	
一般指定財産への振替額	△30,000	0	0	0	△30,000	0	0	△30,000
当期指定正味財産増減額	△30,000	0	0	0	△30,000	0	0	△30,000
指定正味財産期首残高	160,000	0	0	0	160,000	0	0	160,000
指定正味財産期末残高	130,000	0	0	0	130,000	0	0	130,000
III 正味財産期末残高	130,000	0	0	44,787,633	44,917,633	0	0	44,917,633

公益目的事業会計事業費(A)	〔全体〕経常費用計(B)	公益目的事業比率(A/B)
35,911,453	50,014,000	72%

# 県美術館リニユーラルで意見交換

宮城県美術館は、施設・設備の老朽化への対応と、時代に即した機能の充実を図るため、懇話会を設けてリニユーラル構想を検討、3月に基本構想を策定した。懇話会には当協会から大場尚文理事長も参画したが、県教委から「最終案をまとめるにあたり、芸術協会のさまざまな分野の意見も聴取したい」との申し入れがあり、2月24日に当協会で、絵画部、彫刻部、書道部、写真部の各部長・副部長や協会役員との意見交換会が開かれた。

宮城県美術館は、施設・設備の老朽化への対応と、時代に即した機能の充実を図るため、懇話会を設けてリニユーラル構想を検討、3月に基本構想を策定した。懇話会には当協会から大場尚文理事長も参画したが、県教委から「最終案をまとめるにあたり、芸術協会のさまざまな分野の意見も聴取したい」との申し入れがあり、2月24日に当協会で、絵画部、彫刻部、書道部、写真部の各部長・副部長や協会役員との意見交換会が開かれた。

## 芸文協「北斗41号」を発行

東北・北海道芸術文化団体協議会の機関誌「北斗41号」が2月10日付けで発行された。編集・発行は青森県文化振興会議が担当した。

本号の特集テーマは「各県・道のこれまでに傑出した出来事」で、当協会からは白鳥良一事務局長が平成27年の河北文化賞受賞について執筆した。

宮城県美術館は、施設・設備の老朽化への対応と、時代に即した機能の充実を図るため、懇話会を設けてリニユーラル構想を検討、3月に基本構想を策定した。懇話会には当協会から大場尚文理事長も参画したが、県教委から「最終案をまとめるにあたり、芸術協会のさまざまな分野の意見も聴取したい」との申し入れがあり、2月24日に当協会で、絵画部、彫刻部、書道部、写真部の各部長・副部長や協会役員との意見交換会が開かれた。

本号の特集テーマは「各県・道のこれまでに傑出した出来事」で、当協会からは白鳥良一事務局長が平成27年の河北文化賞受賞について執筆した。

## 会費納入のお願い

新年度を迎えましたので、平成29年度会費の納入をお願い致します。自動振替の会員は、今年5月1日(月)が引き落とし日となりますので、指定口座をご確認願います。郵便振替をご利用の会員は、同封の振替用紙で5月31日(水)までに納入願います。

なお、現在郵便振替をご利用の方は、事務処理上の都合により、できる限り自動振替(手数料は芸協が負担いたします)への切り替えをお願い致します。手続きにつきましては、事務局にご相談下さい。

## 会務報告

### 事務局日誌

【第3回部長会議】 1月20日

・平成29年度予算について  
・次年度からの芸術祭の運営について

【展示部門代表者会議】 2月3日  
・第54回宮城県芸術祭の主な日程について

・せんだいメディアアテーク会場の巡回展について

【第5回理事会】 3月17日  
・平成29年度事業計画(案)及び収支予算(案)について  
・新入会員(正会員)の承認について

・賛助会員の推薦について

☆震災七回忌供養追善聖心書展  
3月8日〜14日  
神寺不動尊松景院

☆美里工芸作家グループ展  
3月25日〜4月2日  
美里町近代文学館

☆第5回子供の邦楽コンサート  
3月27日  
宮城野区文化センター

☆第5回リアン協会絵画展  
5月5日〜10日  
せんだいメディアアテーク

☆一般社団法人二科会写真部第24回宮城支部写真展  
5月12日〜17日  
せんだいメディアアテーク

☆第16回「夢・楽描き展」  
5月12日〜17日  
せんだいメディアアテーク

☆古希記念仙台音楽弦団「凜として」  
5月16日  
宮城野区文化センター

☆第47回宮城書芸院書展  
5月17日〜21日  
大崎市民ギャラリー緒絶の館

☆第63回全国公募東北書道展  
5月19日〜24日  
せんだいメディアアテーク

☆皖山会・一音舎35周年日本の楽器によるコンサート  
5月21日  
登米祝祭劇場

☆第52回生田流箏曲演奏会  
5月27日  
戦災復興記念館

☆第3回二科東北支部連合展  
6月2日〜7日  
せんだいメディアアテーク

☆第72回春の院展  
▽入選Ⅱ(日本画)三浦長悦

◇第35回上野の森美術館大賞展  
▽入選Ⅱ阿部好江

受贈書( )は寄贈者  
『したたる瞬間を』(及川良子)、『本郷浩写真集 荒浜』(本郷浩)、『文豪の謎を歩く』詩、短歌、俳句に即して(牛島富美子)、『句集山の陽』(伊澤二三子)、『句集雁の棹』(小松温美)

文芸部(短歌) 加藤登之男殿 2月6日

茶道部(裏千家) 後山傳治殿 2月7日

文芸部(川柳) 山河舞句殿 3月19日

書道部 猪又達生殿 3月26日

工芸部(陶芸) 高倉健殿 3月28日

茶道部(織田流煎茶流) 瀬川南陽殿 4月4日

茶道部 瀬川南陽殿 4月18日

茶道部(裏千家) 熊谷宗成殿 3月19日

文芸部(川柳) 山河舞句殿 3月26日

書道部 猪又達生殿 3月28日

工芸部(陶芸) 高倉健殿 4月4日

## けやきの譜

プロ野球が開幕し、桜の開花も順調な爛漫の春に逆らうように、世界情勢が急にきな臭くなった。シリアの内戦で政権側が化学兵器を使用したとして、米軍がシリア軍を攻撃。米軍はさらに北朝鮮の度重なるミサイル発射実験をとがめ、原子力空母を中心とする「空母打撃群」を朝鮮半島に送った▼このまま戦火が勃発するとは思えなかったが、ほんのささいなきっかけで戦争状態に陥った無数の例は、歴史が証明するところでもある。トランプさんの予測不能な行動も考慮すると、桜見物を楽しんでいるいいのだろうか、という思いにもかられた▼足元では、仙台市の奥山恵美子市長が「三選には出馬せず」のニュース。高齢の母親の世話などが理由に挙げられたが、三選を目指すのは確実、と見られていただけに、7月23日の投票日へ向けて、各党・勢力は戦術の練り直しを迫られた▼芸術・文化から離れた話題はいかかなものかとも思いつつ、たまには世界情勢や政治のニュースも、というもくろみだったのだが、さて…。(恂)